

光葉博物館だより

平成十三年度展覧会

○「木・土・金属の造形——西川利夫・吉野毅・綿引道郎の世界——」

○「授業資料の展示「江戸時代の用水設備とくらしの品々」

○「アフリカン・イメージネーション」

○「クリエイティブアート——中高部生徒作品展——」

○「生活環境学科生活文化学科「卒業制作展 2001」

◆常設展示室

「館収蔵品展——郷土玩具（張り子・上人形・お面）と中国硯——」

「館収蔵品展——インドネシアの民芸品と中国の硯——」

平成十四年度展覧会予定

○「近代文学研究叢書 完結記念展」 5月13日～6月15日

○「新収蔵資料展」 7月10日～24日

○「台湾の工芸展」（仮称） 10月18日～11月16日（予定）

○「卒業制作展2002」（仮称）平成15年2月末～3月初（予定）

◆常設展示室

前期「館収蔵品展——インドネシアの民芸品と中国の硯——」

後期「館収蔵品展——世界の風俗人形——」（仮称）

※いずれも日曜・祝日・長期休暇など大学が定める休日は休館

（学芸員 有路素子記）

文化史学会だより

文化史学会第七回大会報告

平成十三年六月三日（土）午後一時三十分より、昭和女子大学研究館七階視聴覚教室において、当学会の第七回大会が開催された。プログラムは次の通りであった。

研究発表 渋沢美由紀（昭和女子大学大学院生）

「盗人送りについて——ムラハチブと信仰伝承——」

大久保美玲（星の王子さまミュージアム）

「徳本行者の民衆勧化についての一考察——融通念仏的手法を中心に——」

内田 啓一（昭和女子大学講師）

「新出の高野大師四社明神画像について」

木下 亮（昭和女子大学助教授）

「ゴヤと王室絵画コレクション」

吉成 薫（昭和女子大学助教授）

「社会道徳の発見——古代エジプト古王国時代末・第Ⅱ中間期の思想——」

懇親会 研究館五階ロビーにて

文化史学会第八回大会報告

平成十三年十二月六日（土）午後一時三十分より、昭和女子大学一号館三階集会室、研究館七階視聴覚教室において、当学会の第